



第60号

佐倉市臼井地区社会福祉協議会 発行者 八田進 編集 広報事業部

荒れ地が畑になるまで



①最初の状態



②ユンボ2台



③ユンボ整地後



④トラクター作業



⑤バイオ炭

令和5年4月に千葉県社会福祉協議会より福祉教育推進団体に指定されて2年半、学校と連携して協働活動をしてきましたが、さらに今年から臼井西中学校裏で新たな試みを始めました。

20年以上前から聖隷佐倉市民病院裏の畑を借用して行ってきた「親子いもほり会」ですが、コロナ禍の時期には、せっかく植えたイモも行き場を無くしてしまいました。そんな中、たまたま小学校でも活動自粛が多くなったという話を伺い、広い畑でのいもほりなら密にならないということから「小学生のいもほり体験」という取り組みが始まりました。

また福祉教育推進校に指定されてからは、小学生による苗植え・収穫・子ども食堂へのさつまいも贈呈ということも始めましたが、1つ問題だったのが畑の場所が遠いこと。その頃から臼井地区内(福祉教育パッケージ指定)でも畑に出来る場所を探し始めました。

今年1月中旬、臼井西中裏に広大な学校用地(約1500㎡・約450坪)が空き地になつていて、校長先生、教頭先生を通じて教育委員会に説明に伺い、2月末に学校用地借用の許可を頂くことが出来ました。

早速3月2日、雑草が生い茂っていた土地(写真①)を福祉委員18名で掘り起こそうとしましたが、固くてクワやスコップではとても歯が立ちません。参加していた福祉委員が知人の(株)井野口建材・井野口社長に相談して、畑の利用目的(臼井地区社協の活動として・小学生のいもほり体験学習・地域の多くの親子が参加する活動等)をお話したところ、元々社会福祉協議会の活動にご理解があったことから、無償で作業を引き受けて下さるようになりました。

2名の作業員の方がユンボ2台で2日間(3月8日・10日)(写真②③)埋設物の処理までと、思いもよらない大がかりな作業になってしまいました。

3月22日にはこの活動を聞いた臼井台・設水(しみず)さんがトラクターで全面整地をして、畑になるような土作りをして下さいました。(写真④)

一方、1月末に佐倉市が国の研究機関「農研機構」から実証実験で「バイオ炭」「環境に配慮した農業」に取り組むという報道を見て、雑草地を一から畑に改良することと何か繋がりは無いかと市役所に問い合わせたところ、後日「バイオ炭」を使った農業に取り組んでいる「北総クルベジ」・喜屋武(きやたけ)さんを紹介して下さいました。中学校の空き地を環境に配慮して一から改良した畑で「いも苗植え・収穫」をすることは、良い事例になるということで、ご協力頂けることになり「バイオ炭」を4袋も作って下さいました。(写真⑤)(2ページへ続く)

福祉教育を踏まえた新たな試み さつまいも畑移転

臼井地区社会福祉協議会 会長 八田進

更に、喜屋武さんからは小竹の「結び合い農園」・丹上（たんじょう）さんを紹介して頂きました。

設水さんが整地して下さいした後、1か月後に改めて丹上さんがトラクターで整地をして下さいましたが、元が雑草地なので土地が「やせている」と、成田から中型ダンブ一杯の肥料も運んで下さいました。（写真⑥）

その後4月19日には「バイオ炭」と「肥料」をみんなで畑に撒きました。（写真⑦）丹上さんにはその後もトラクターを入れて頂き（写真⑧）、5月24日には福祉委員が一部の畝作り（写真⑨）、その後丹上さんが残りの場所の畝を作って下さいました。

こうした多くの方々のご尽力で、6月2日には王子台小4年生と福祉委員でも苗植え作業をすることが出来ました。（写真⑩）



⑥肥料搬入



⑦炭・肥料まき



⑧トラクター作業後



6月21日の畑



⑩いも苗植え



⑨畝づくり



枯れた土地から畑への変更という大きな作業は、多くの方のボランティアがあつてこそ出来たことです。この場を借りて改めて感謝申し上げます。
収穫までにはまだ間がありますが、福祉教育推進校・団体に指定されて2年半、本来のパッケージ指定活動が実つたと思っています。

5月24日作業参加メンバー



臼井地区社協 活動報告 令和7年4月～7月

4～7月		臼井地区社協行事一覧
4月	17日(木)	令和6年度会計監査
	19日(土)	第1回理事会
	19日(土)	西中畑・竹炭・堆肥入れ
	23日(水)	100円喫茶サロン・ニココー班
	26日(土)	第1回福祉委員定例会
5月	10日(土)	第2回理事会
	15日(木)	冊子製本作業
	17日(土)	第2回福祉委員定例会
	24日(土)	西中畑・畝づくり
	28日(水)	100円喫茶サロン・うすい荘班
6月	2日(月)	西中畑・苗植え 王子台小・臼井地区社協
	14日(土)	第3回理事会
	14日(土)	新福祉委員研修
	21日(土)	第3回福祉委員定例会・福祉委員研修
	21日(土)	西中畑・雑草取り
	25日(水)	100円喫茶サロン・稲荷台班
7月	12日(土)	第4回理事会
	19日(土)	第4回福祉委員定例会
	19日(土)	広報紙「うすい」60号発行

臼井地区社会福祉協議会 一般会計 令和6年度決算・令和7年度予算書				
(収 入)		6年度決算額	7年度予算額	説 明
市 社 協 支 出 金		992,378	1,045,000	市社協よりの交付金
地区社協運営費助成金		942,378	1,000,000	会費還元金・福祉基金補助金・支えあい活動助成金
歳末助けあい募金助成金		50,000	45,000	
敬老事業配分金		492,640	500,000	おじいちゃんおばあちゃんありがとう事業
福祉教育費		100,000	100,000	
事業収入		165,250	30,000	にぎわい祭り売上、いきいきサロン会費等
寄付金		500,000	0	
愛の箱積立金		55,486	30,000	
雑収入		542	500	預金利子等
特別会計より繰入		0	0	
前年度繰越金		498,949	308,863	
合 計		2,805,245	2,014,363	
(支 出)		6年度決算額	7年度予算額	説 明
運 営 費		735,881	790,000	
会 議 費		13,698	10,000	福祉委員会会議費・会場使用料等
事 務 費		78,483	100,000	通信・印刷・封筒印刷費・事務消耗品等
事務局員設置費		497,800	550,000	
事務局共通事務費		80,000	70,000	うすいセンター共通経費（電気・電話等）
実費弁償費		45,000	45,000	交通費・ガソリン代等
備品費		0	5,000	
渉外費		20,900	10,000	渉外にかかわる費用
事業費		667,861	575,000	
地域福祉費		222,026	150,000	
地域福祉費		121,697	70,000	地域福祉事業費
いきいきサロン事業		100,329	80,000	いきいきサロン事業費
高齢者福祉費		173,720	150,000	昼食会・配食サービス他高齢者事業費
障がい者福祉費		0	5,000	障がい児者支援事業費
児童福祉費		86,768	70,000	児童福祉事業費
広報事業費		149,918	140,000	広報事業費（社協うすい）年3回発行等
研修費		15,429	40,000	福祉委員研修事業費
支え合いサービス費		20,000	20,000	支え合いサービス事業費
敬老事業費返還金		405,408	500,000	おじいちゃんおばあちゃんありがとう事業
敬老事業費返還金		87,232	0	
福祉教育費		100,000	100,000	小学校いもほり用苗、他協働事業用
特別会計へ		500,000	0	
予備費		0	49,363	
次年度繰越金		308,863	0	
合 計		2,805,245	2,014,363	

令和7年度事業について

令和7年度の事業計画で大きく変わったことは次の2点です。

1つは1面でも紹介しましたが、「親子いもほり会」などを行っている畑の場所が、江原台から臼井西中学校内へと変更になったこと。

もう1つは「1000円喫茶サロン」の回数が年12回から8回に変更となったことです。

サロン回数の減少は、熱中症対策でもあります。サロンが開かれる1時半頃は、一日のうちに一番暑い時間帯でもあります。近年の暑さの中では、会場に来られる方が熱中症にならないかが心配でした。

そのため今年は7～9月の3ヶ月と、年末の12月の4ヶ月はサロンを休止することにしました。

年8回になったサロンですが、今年もアコーディオンの三浦先生には4回お越しいただきます。

また包括支援センターの脳トレや体操、講話など、充実した内容を企画しています。

お近くでサロンが開催される時には、ぜひご参加ください。たくさんの方のお越しをお待ちしています。

＊今年のありがとう事業＊
表彰式は12月6日(土)です

令和7年度事業計画

全体事業

＊福祉教育推進事業

＊愛の手サポート

＊ありがとう事業

いきいきサロン事業部

＊百円喫茶サロン＆買物支援・8回

高年齢者・障がい者福祉事業部

＊秋の友愛訪問

＊ひなまつり友愛訪問

＊施設イベント支援 施設研修

地域福祉事業部

＊募金活動(赤い羽根・歳末)

＊自主財源確保

うすいふるさとにぎわい祭り

愛の箱

児童福祉事業部

＊三世代交流親子いもほり会

＊地域行事支援事業

広報事業部

＊広報紙発行(年3回)

＊広報紙以外の活動

活動取材・各種チラシ・ポスター

等作成、ホームページ

研修事業部

＊新福祉委員研修

＊福祉委員研修

＊福祉公開講座

＊救急救命講習会

＊施設訪問研修

愛の手サポートだより

臼井地区社協 支え合い活動「愛の手サポート」は2020年1月1日にスタートしました。6年目に入り、日ごろ現場で作業されているサポーターの方々の率直なご意見をいただく「情報交換会」を5月31日 臼井田自治会館で開きました。当日は市社協井上さん、包括支援センター鈴木さんをお迎えしました。サポーターの方々との意見交換の中では、まず庭の草取りをしている方々からは

- ・今の時期、虫がいたり、木にびっしり虫の卵があったりするので殺虫剤が欲しい
- ・性格上、草取りを丁寧にするとう時間がかかり、その分金額も増えてしまい申し訳ない
- ・利用者に同居家族がいても、一切庭仕事はしない。複雑な思いで作業している
- ・その他では
- ・作業中の破損事故、虫刺され(蜂など)や怪我をした場合の保障はどうなっているのか
- ・サポーター対象の講習会があると良い。初めて掃除などで高齢者宅に向う際の心構えなど
- ・スマホやPCの使い方を教えることが出来る
- ・囲碁サークルがあるので、サークル仲間に手伝い(対戦相手)の声掛けをしてもいい
- ・などの意見が出ました。

なお、作業中の怪我、破損事故などがあつた場合は、市社協で活動保

「困った」と思ったら、お電話ください!

愛の手サポートセンター

受付は毎週火曜日・木曜日の
9時30分～12時です。

043(377)4664

＊活動をお手伝いしてくださる
サポーターも募集中です!



険に入っていますので、すぐに連絡をしてくださいと、井上さんから回答もありました。

また、依頼されたことで困ったことがある場合は、愛の手サポートで対応を致します。

支え合い活動に携わる方は、どの立場のボランティアも大切な方々です。特に実際現場で作業するサポーターさんには感謝ばかりです。ちょっと困った高齢者がどれほど助かっているか、いつも思っています。

ある日の朝ドラの会話から

「人は何のために生まれ、生きていくのか。誰かのために役立ちたい」のです。(センター長 原田和子)

高齢者障がい者事業部(18名)			
佐藤喜美子	八幡台	荒 悟	ニコ-団地
原田 和子	〃	渡邊 菊江	白井上宿
◎渡邊美智子	〃	深川 良信	ヒューマン
伊藤 迪行	白井田	三村富美子	稲1丁目
藤代 和夫	〃	中村 一孝	稲2丁目
藤代 祐子	〃	西脇 興二	〃
荒木 清美	白井台区	佐藤 直子	稲4丁目
高宮 敬子	〃	佐藤 正史	〃
小野 清美	大名宿	福田 実	〃
いきいきサロン事業部(14名)			
伊藤都喜子	八幡台	◎菅原かおり	ニコ-団地
林 恵里子	〃	宮道 麗子	〃
板東 陽子	〃	吉川 幸子	〃
深瀧 珠子	白井田	森 智恵子	〃
温井 健治	白井台区	齋藤美奈子	稲1丁目
末永 孝雄	ニコ-団地	濱中美智子	〃
末永ヨシ子	〃	遠藤 一瑞	〃
広報事業部(7名)			
大橋 郁	八幡台	千葉 利雄	下宿
◎永瀬 博子	〃	八田 進	〃
但馬 祥生	白井田	柴倉紀美代	稲2丁目
◎宝田 雅弘	野口会		
研修事業部(8名)			
高橋 勝征	白井田	武藤 静江	上宿
中島 義人	〃	野口 幸雄	中宿
◎宇田川光三	大名宿	花島 邦夫	稲3丁目
小川 弘志	上宿	三好さと子	アバガーデン

児童福祉事業部(18名)			
◎磐崎 武仁	八幡台	秦 大輔	下宿
城 さゆり	〃	小那木忠男	白井新町
大塚 孝憲	白井台区	山部 紘	〃
田仲 知代	〃	中台 重樹	〃
山田 淳子	〃	八木 光正	稲1丁目
嶋田 勝己	野口会	武井 浩一	稲4丁目
◎鈴木 滋	〃	渡邊 浩成	アバガーデン
平川 弘	上宿	池田 菊子	ライオンズ
岡野 敦	下宿	東田さよ子	〃
地域福祉事業部(13名)			
武田 幸子	八幡台	半谷 克彦	下宿
池田 辰治	ニコ-団地	柴田 良子	白井新町
赤岡 洋	野口会	二本柳吉美	〃
田中 賢治	〃	岡野 高明	稲1丁目
◎八木 方	〃	松本 勉	ライオンズ
山田 喜三	〃	三村 辰也	〃
井岡 隆昭	上宿		
学校長(3名)			
吉田 健	白井西中	児玉喜久子	白井小
神成 裕尊	王子台小		
事務局			
八田 進	会長	伊藤 迪行	事務局長・書記
鈴木 滋	副会長	深瀧 珠子	会計
東田さよ子	副会長	濱中美智子	会計
原田 和子	副会長	永瀬 博子	うすいセンター
	愛の手帳	一ツセンター長	

令和7年度 臼井地区社協福祉委員一覧
 17自治会・町内会・区福祉委員 81名



本年度臼井地区社協の各事業部のメンバーです。よろしくお願い致します。

◎ ……事業部部長 ○ ……事業部副部長 青 ……民生児童委員 ピンク ……主任児童委員

イオンイエローレシートキャンペーンご協力のお願い

イオンで毎月11日にお買い物をすると、黄色いレシートが発行されるのをご存じですか？

令和6年度(6年3月~7年2月)の結果、今回は12,300円分のイオンギフトカードを頂きました。「100円喫茶サロン」でお客様に提供する、お茶とお菓子などを購入させていただきました。ご協力ありがとうございました。引き続きご協力をお願い致します！



臼井地区社協
シール

ご意見はうすいセンターまで

「うすいセンター」(臼井・王子台・うすい東地区社協合同事務所)

臼井地区社協担当日は

毎週月曜日・木曜日

開館時間・午前9時半~午後4時半
(12時~1時は昼休憩です)

住所: 佐倉市王子台1-23

レイクピアウスイ3階

電話: 043(462)0743

メールアドレス: center-

usui@catv296.ne.jp

ホームページ:

http://www.catv296.ne.jp/~

usui-syakyo/

介護は支えて貰う人と支える人との意思疎通が大切だと思います。個人的にロボットには興味はありますが、介護でお世話にならないよう、もう少し頑張ろうと思います。

広報紙「うすい」が100号を迎えるとき、どんな世の中になっているのか、楽しみでもあり、ちょっと怖い気もします。(宝田)

新たに作り組んだ活動としては、令和2年1月、数年かけて検討してきた念願の支えあい活動がスタート。この「愛の手サポート」は今年6年目を迎え、多くの方の利用があります。ところが現在、いろいろなところで人手不足が社会問題となつています。業界によつてはすでに外国の労働者やロボットで人手不足を補っているところもあります。そう遠くない時期に介護でもロボットの力を借りるようになるのでしょうか？

介護は支えて貰う人と支える人との意思疎通が大切だと思います。個人的にロボットには興味はありますが、介護でお世話にならないよう、もう少し頑張ろうと思います。

広報紙「うすい」が100号を迎えるとき、どんな世の中になっているのか、楽しみでもあり、ちょっと怖い気もします。(宝田)

うすい景

平成17年4月(2005年)臼井地区社協としてスタートしてから、広報紙「うすい」が60号となりました。ページ数になると262ページになります。数々の活動は少しずつ変化を遂げながら、今日まで続いているものがほとんどです。